

シェール関連株オープン
追加型投信／海外／株式

設定来の基準価額の推移



基準価額	11,951 円
純資産総額	17.2 億円

※基準価額は1万口当たりです。

騰落率	1ヵ月前	3ヵ月前	6ヵ月前	1年前	3年前	設定来
分配金再投資基準価額	5.42%	9.01%	16.27%	1.33%	24.09%	87.94%
参考指数	1.62%	12.05%	26.23%	19.53%	102.78%	753.15%

※騰落率は、1ヵ月前、3ヵ月前、6ヵ月前、1年前、3年前の各月の月末および設定日との比較です。

※分配金再投資基準価額の設定来騰落率は、1万口当たりの当初設定元本との比較です。

※参考指数は、S&P500トータルリターン指数〔円換算後〕です。

※参考指数の騰落率は、Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメントが算出しております。

※参考指数は、当該日前営業日の現地終値に為替レート（対顧客電信売買相場の当日（東京）の仲値）を乗じて算出しております。

最近5期の分配金の推移	
2023/10/10	700 円
2024/04/09	1,000 円
2024/10/09	500 円
2025/04/09	0 円
2025/10/09	600 円
設定来合計	5,400 円

※分配金は1万口当たり、税引前です。
運用状況等によっては分配金額が変わること、或いは分配金が支払われない場合があります。

ポートフォリオ構成比率	
株式	95.0%
（内国内株式）	(0.0%)
（内外国株式）	(95.0%)
（内先物）	(0.0%)
短期金融商品その他	5.0%
マザーファンド組入比率	97.5%
組入銘柄数	52銘柄

※マザーファンドを通じた実質比率です
(マザーファンドの組入比率を除く)。

※構成比率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※銘柄数は、新株等がある場合、別銘柄として記載しております。

シェール関連株オープン
追加型投信／海外／株式

組入上位10銘柄

	銘柄名	セクター	国・地域	比率	企業概要
1	エクソンモービル	エネルギー	アメリカ	4.7%	石油・天然ガス生産会社。自動車、トラック、航空、海運業界向けに、探鉱・生産統合燃料、潤滑油、化学品、精製製品を提供する。世界各地で事業を展開。
2	マラソン・ペトロリアム	エネルギー	アメリカ	4.3%	下流部門のエネルギー会社。石油製品の精製、供給、販売、輸送を手掛ける。米国で事業を展開。
3	バレロ・エナジー	エネルギー	アメリカ	4.3%	独立系石油精製・販売会社。米国、カナダ、カリブ海のアルバで精油所を所有・経営する。製品には、一般ガソリン、留出油、ジェット燃料、アスファルト、石油化学製品、潤滑油、その他精製品、ディーゼル、低質・超低質硫黄ディーゼル、酸素処理油などがある。
4	ウェーラムズ・カンパニーズ	エネルギー	アメリカ	4.3%	エネルギー・インフラ会社。北米の炭化水素資源プレーを天然ガス、液体天然ガス(NGL)、オレフィン繊維の成長市場と結びつける事業に注力する。ミッドストリームにおける資源の収集・加工および天然ガスの州間パイプラインの所有・運営を手掛ける。
5	キンダー・モルガン	エネルギー	アメリカ	3.7%	パイプライン輸送・エネルギー貯蔵会社。パイプラインを保有・運営し、天然ガスやガソリン、原油、二酸化炭素などの製品を輸送する。また石油製品や化学品の貯蔵用、および石炭や石油コーカスなどのバルク材料の管理用ターミナルも運営する。
6	ナショナル・フェュエル・ガス	公益事業	アメリカ	3.7%	総合天然ガス会社。公益事業、パイプライン・貯蔵、探査・生産、販売などの天然ガス関連事業を手掛ける。米国で事業を展開。
7	シェブロン	エネルギー	アメリカ	3.7%	エネルギー会社。原油、天然ガスなどの輸送燃料、潤滑油、石油化学製品、添加剤を製造する。世界各地で事業を展開。
8	DTミッドストリーム	エネルギー	アメリカ	3.6%	中流部門エネルギー会社。天然ガスの米国州間パイプラインを保有・運営、および開発する。州間採取パイプライン、貯蔵、採取システム、および圧縮・処理・地上施設の運営に注力。米国で事業を展開。
9	フィリップス66	エネルギー	アメリカ	3.1%	ダウンストリーム分野のエネルギー会社。燃料、化学製品、ミッドストリーム事業、および次世代エネルギー関連の製品・サービスの製造、輸送、販売を手掛ける。世界各地で事業を展開。
10	EQT	エネルギー	アメリカ	2.8%	総合エネルギー会社。米国のア巴拉チア山脈地域で天然ガスの生産・輸送・供給に注力。子会社を通して、天然ガスを卸売・小売業者へ提供する。

※比率は、当ファンドの純資産総額に対する実質組入比率です。銘柄は、新株等がある場合、別銘柄として記載しております。

(出所:QuickFactSet, Bloomberg)

シェール関連株オープン
追加型投信／海外／株式

組入上位5セクター		
	セクター名	比率
1	エネルギー	84.9%
2	公益事業	10.1%
3	—	—
4	—	—
5	—	—

組入上位国・地域		
	国・地域	比率
1	アメリカ	77.7%
2	カナダ	17.3%
3	—	—
4	—	—
5	—	—

※比率は、当ファンドの純資産総額に対する実質組入比率です。

ファンドマネージャーのコメント

<投資環境と今後の見通し>

11月の北米株式市場は上下に振れる展開となりました。上旬から中旬にかけては、米国の政府閉鎖終了を受けて景気減速懸念が後退したこと、加えて、米連邦準備制度理事会(FRB)の複数の高官が12月の利下げに対して否定的な見解を示したことから、利下げ期待が後退し株価は下落しました。また、米大手テクノロジー企業が起債での積極的な資金調達を実施する中、複数の有識者がAIの過剰投資懸念に言及しました。米半導体大手企業の決算は事前予想を上回る内容でしたが、懸念の払拭につながりませんでした。後半には、他のFRB高官が12月の利下げに対して肯定的な姿勢を示したとの見方から、米国の利下げ期待が一気に回復し、株価は下落幅を縮めました。

11月の原油価格は軟調に推移しました。主要産油国による増産圧力が続く中、世界的な需要の伸び悩みが意識されたことなどを背景に下落基調となりました。

今後の北米株式市場は、やや神経質な相場展開を予想します。良好な企業業績が株価の下支え要因として働くことが期待される一方で、短期的にはAI関連株を中心に過熱感が意識されやすいと見ています。次期FRB議長人事を巡る報道も相場の変動要因となりそうです。リスク要因としては、プライベートクレジット市場の不透明感や大幅に増加したAI投資の利益回収の遅れが強く意識される可能性などが挙げられます。

原油価格については、引き続き弱含みの動きを想定します。石油輸出国機構(OPEC)加盟国とロシアなどのOPEC非加盟の産油国で構成する「OPECプラス」による増産が見込まれることから、需給バランスの悪化を背景に価格の下押し圧力が意識される展開を予想します。

<運用経過と今後の運用方針>

11月は、原油生産から石油製品の精製・販売まで広く事業が分散されている総合石油株を高位ウェイトで組み入れるポートフォリオを維持しました。一方で、信用リスクが相対的に高いと判断した一部の調査・採掘関連銘柄を売却しました。

今後の運用につきましては、原油生産から石油製品の精製・販売まで広く事業が分散されている総合石油株を高位にウェイト付けした現行のポートフォリオを概ね維持する方針です。

※ 今後の運用方針等は、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。また、市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果を保証するものではありません。

ファンド情報

設 定 日	2013年4月25日
償 還 日	2045年4月7日
決 算 日	毎年4月9日および10月9日(休業日の場合は翌営業日)

ファンドの特色(1)

1 | 米国、カナダおよびメキシコのシェール関連企業の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資します。

- 実際の運用はシェール関連株マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて行います。



DR(預託証券)とは

自国以外で株式発行会社の株式を流通させるために、その発行会社の株式を銀行などに預託し、その代替として自国以外で発行される証券をいいます。

2 | 投資にあたっては、米国、カナダおよびメキシコの企業の中から、シェールガス/オイルの生産拡大により成長が期待される企業、エネルギーコストの低下により恩恵を受ける企業に着目します。

シェールガス/オイルの生産拡大により成長が期待される企業

- 主に、以下の供給過程における関連企業
探査・掘削 等…探査、開発、掘削
輸送・貯蔵 等…パイプライン、船舶、トラック、貯蔵タンク等
加工・精製 等…ガス・石油の精製、ナチュラルガスリキッド*等の製造等

エネルギーコストの低下により恩恵を受ける企業

- 主に、天然ガス、電力等を大量に消費する企業
化学業界、鉄鋼業界、電力業界、物流業界 等

*産出された天然ガスから分離・回収された液体炭化水素

3 | ポートフォリオの構築にあたっては、投資環境および企業の業績動向、成長性等を勘案して行います。

4 | 原則として、株式の実質組入比率は高位とします。

5 | 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドの特色(2)**●分配方針**

毎年4月9日および10月9日(それぞれ休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。

- 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。
- 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。

※分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

投資リスク(1)**■基準価額の変動要因**

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。

ファンドは、米国、カナダおよびメキシコの株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。

●主な変動要因**株価変動リスク**

株式の価格は、発行会社の業績や財務状況、株式市場の需給、政治・経済状況等の影響により変動します。

為替変動リスク

外貨建資産は、為替相場の変動により円換算額が変動します。投資対象通貨に対する円高により、外貨建資産の円換算額は減少し、円安により、外貨建資産の円換算額は増加します。

カントリーリスク

投資対象国・地域等における外貨不足等の経済的要因、政府の資産凍結等の政治的理由、社会情勢の混乱等の影響を受けることがあります。

流動性リスク

有価証券等の時価総額が小さく、または取引量が少ないと、市況の急変、取引所の閉鎖等により、有価証券等の売買価格が通常よりも著しく不利な価格となることがあります。

投資リスク(2)

● その他の変動要因

信用リスク

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

■ その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てる必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 ※詳しくは販売会社にご確認下さい。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社の定める期日までにお支払い下さい。 ※詳しくは販売会社にご確認下さい。
換金単位	販売会社が定める単位 ※詳しくは販売会社にご確認下さい。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目から販売会社を通じてお支払いします。
申込締切時間	原則として、購入・換金の申込みに係る、販売会社所定の事務手続きが午後3時30分までに完了したものを当日の申込受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳細は販売会社にご確認ください。
換金制限	ありません。
購入・換金 申込不可日	以下に該当する日は、購入・換金申込の受付を行いません。 ・ニューヨークの取引所の休業日
購入・換金 申込受付の 中止及び取消し	取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込の受付を中止することや、すでに受け付けた購入・換金申込の受付を取消すことがあります。
信託期間	2045年4月7日まで(2013年4月25日設定) ただし、投資者に有利である場合等は、信託期間を延長することがあります。
繰上償還	受益権口数が10億口を下回ることとなった場合、やむを得ない事情が発生した場合等には繰上償還となることがあります。
決算日	毎年4月9日および10月9日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 「分配金再投資コース」の場合、収益分配金は、税金を差し引いた後、決算日の基準価額で再投資します。
信託金の限度額	5,000億円
公告	原則として、電子公告の方法により行い、次のアドレスに掲載します。 https://www.sbiokasan-am.co.jp
運用報告書	毎決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて交付します。

シェール関連株オープン
追加型投信／海外／株式

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入金額(購入価額×購入口数)に、販売会社が独自に定める購入時手数料率を乗じて得た額 購入時手数料率の上限は、3.3%(税抜3.0%)です。 購入時手数料率は変更となる場合があります。 詳しくは販売会社にご確認下さい。	ファンドの商品説明および販売事務手続き等の対価として販売会社に支払われます。
信託財産留保額	ありません。	

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額×年率1.705%(税抜1.55%)		
	委託会社	年率0.70%(税抜)	委託した資金の運用の対価です。
	販売会社	年率0.80%(税抜)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
	受託会社	年率0.05%(税抜)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。

その他費用・手数料	監査費用:純資産総額×年率0.0132%(税抜0.012%)
	有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。 ※運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに投資信託財産から支払われます。その他費用・手数料(監査費用を除きます。)はその都度、投資信託財産から支払われます。

※ファンドに係る手数料等につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。

委託会社および関係法人の概況

委 託 会 社 SBI岡三アセットマネジメント株式会社 (ファンドの運用の指図を行います。)

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第370号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

受 託 会 社 株式会社りそな銀行 (ファンドの財産の保管及び管理を行います。)

シェール関連株オーブン
追加型投信／海外／株式

販売会社について

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	日本証券業 協会	加入協会		
			一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
臼木証券株式会社	関東財務局長(金商)第31号	○			
永和証券株式会社	近畿財務局長(金商)第5号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
香川証券株式会社	四国財務局長(金商)第3号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
大山日ノ丸証券株式会社	中国財務局長(金商)第5号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
播磨証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
光証券株式会社	近畿財務局長(金商)第30号	○	○		○
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○			
松井証券株式会社	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
三木証券株式会社	関東財務局長(金商)第172号	○			
三田証券株式会社	関東財務局長(金商)第175号	○			
三菱UFJ eスマート証券株式会社	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
武甲証券株式会社	関東財務局長(金商)第154号	○			
(登録金融機関)					
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者:マネックス証券株式会社)	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者:マネックス証券株式会社)	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社千葉興業銀行	関東財務局長(登金)第40号	○			
株式会社東北銀行	東北財務局長(登金)第8号	○			

(注) 販売会社によっては、現在、新規のお申込みを受け付けていない場合があります。

シェール関連株オープン
追加型投信／海外／株式

委託会社
お問合わせ先

電話番号
03-3516-1300(営業日の9:00~17:00)

ホームページ
<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

ご注意

- ・本資料はSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いします。投資信託説明書(交付目論見書)の交付場所につきましては「販売会社について」でご確認ください。
- ・本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・本資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
- ・本資料は当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。